

研究の焦点

小規模湾岸君主国における国家-ビジネス関係： 意思決定プロセスにおけるビジネス・アクターの役割

マーク・ヴァレリー
エクセター大学
m.valeri@exeter.ac.uk

石油以前：

- 商人と君主の歴史的関係
- 君主が商人に財政的に依存

石油発見時：

- 商人への財政的依存から脱却
- 新たな「社会契約」
- 「代表なくして課税なし」

クウェイト

強力な商人エリート

商人達は政治空間から排除されたが、支配者は支配一族がビジネスに関与しないことを確約しなければならなかった。

カタル、UAE

脆弱な商人エリート

商人の政治空間からの排除だけでなく、支配一族のビジネスへの大規模介入

バハレーン

ビジネス・エリートが支配一族内部の勢力均衡に依存

オマーン

部族や一族ではなく、一人の人物の支配。支配一族が小さく、脆弱。

支配者が権力を維持するために（政治的に強力な）商人と同盟関係を締結。

ビジネス・エリートとアラブの春

社会・経済改革が GCC 諸国で発生した政府批判の最優先要求事項。

ビジネス・エリートはデモ参加者の主要なターゲット（バハレーン、オマーンで）

いくつかの個別事例（民主主義的な政府批判への親近感によるもの）を除いて、ビジネス・アクターは常に政府側。

ビジネス・エリートは、現状位置に利益を見出す。彼らは基本的に権威主義体制と結びつく。